



2025/9/1

第186号



わが村 Facebook



わが村 Homepage

「わが村は美しくー北海道」運動

メールマガジン

■□■□ 《目次》 ■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□
(目次のタイトルは該当ページにリンクしています)

【わが村運動情報】

◎ “エスコンフィールドHOKKAIDO”で「わが村は美しくー北海道」運動PR！！

～☆ わが村団体による『地域特産品の販売会』を開催しました ☆～

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」9月号の掲載情報

◎ 広報誌「開発こうほう」9月号の掲載情報

【わが村コラム】

◎ 「NPO法人別海町文化財ネットワーク」（別海町）が販売する『開拓使別海さけ缶詰』

【わが村団体の活動情報】

◎ 『うまいよ！るもい市』が開催されました！（留萌市）

◎ 『夏休み企画 子ども料理教室』を開催しました！（七飯町）

※イベント情報については日時や内容などが変更となる場合がありますので、事前に関係HP（SNS）などでご確認ください。

【お知らせ】

◎ 令和7年度(2025年度)食品表示制度セミナーの開催について（北海道環境生活部）

【活動支援メニュー情報】

◎ 令和7年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク）

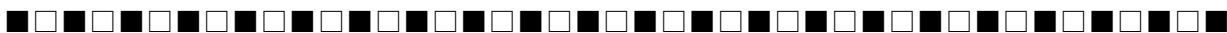
◎ 農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ “エスコンフィールドHOKKAIDO”で「わが村は美しくー北海道」運動PR！！

～☆ わが村団体による『地域特産品の販売会』を開催しました ☆～

8月16日（土）、「わが村は美しくー北海道」運動のPRとともに運動参加団体による『地域特産品の販売会』を“エスコンフィールド HOKKAIDO”（北広島市）にて開催しました。

今回のイベントは、地域活性化等に寄与することを目的とした連携協定を締結している（株）北海道日本ハムファイターズのご協力により実現したものです。

販売会を行った「地域PRブース」では、運動団体である『合同会社びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）』、『株式会社なまら十勝野（芽室町）』、『歯舞マリンビジョン協議会（根室市）』、『いきいきかあさん土曜市（岩見沢市）』の“こだわり商品”を野球観戦に訪れた方々にお買い求めいただき、大盛況の中、終えることができました。

「地域PRブース」にお越しの皆さま、開催にご協力の皆さま、ありがとうございました。





◎ＪＲ北海道車内誌「The JR Hokkaido」９月号の掲載情報

ＪＲ北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。９月号では、第１１回コンクールでNPO特別賞を受賞した「**合同会社ノーサム**」（帯広市）について紹介されています。

ＪＲにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

ＪＲ北海道ＨＰからＪＲ北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（ＨＰトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「合同会社ノーサム」については、わが村ＨＰでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa000001kejz.pdf

※JR 北海道車内誌「The JR Hokkaido」は新たにデジタル媒体にリニューアルされ、これに伴い、JR 北海道車内誌「The JR Hokkaido」（紙版）は９月号の発行をもって休刊となります。

「The JR Hokkaido」（デジタル版）では、内容もリニューアルされ、紙版により皆さまにご愛読いただいていた「わが村は美しく」の掲載記事は終了となりますが、新たにわが村 HP に掲載となるわが村団体の取組等を紹介する「コラム」などのページがデジタル版からご覧いただだけようになりますので、是非こちらをご覧ください。 【公開日時】2025 年 9 月 1 日（月）午前 10 時 【U R L】[thejrhokkaido.com](https://www.jrhokkaido.com)

◎広報誌「開発こうほう」９月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく

ー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。9月号では第8回コンクールで優秀賞を受賞した「えさし水土里の会」（江差町）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご覧下さい↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「えさし水土里の会」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/08/dantai/8107.pdf>

【わが村コラム】

今回ご紹介するのは、日本有数の酪農地帯である別海町で活動している「NPO法人別海町文化財ネットワーク」が販売する『開拓使別海さけ缶詰』です。

「NPO法人別海町文化財ネットワーク」は、第7回コンクール奨励賞受賞団体である「別海町グリーン・ツーリズムネットワーク」の活動を、2024年7月に引き継いで発足しました。

当法人では、別海町の住民や別海町を訪れる人々が、別海町の広大な地域に広がる歴史・文化・自然を理解してもらえるよう、町全体を「別海おたからミュージアム」として、別海町の歴史や自然を踏まえた別海町らしい地域の振興と活性化に寄与することを目的として、将来にわたって継承・公開する事業を行っています。具体的な活動としては、前団体から引き継いだ別海町奥行地区にある交通歴史遺産を巡る「奥行臼（おくゆきうす）散策デー」などの『フットパスツアー』のほか、今年は町内にある戦争遺産を巡る「戦後80年ツアー」も開催予定です。そのほかに、町内に点在する文化財を対象とした



『別海のおたからの調査・研究活動』や『文化財保全活動』などを実施しています。

『開拓使別海さけ缶詰』は、明治初期に「旧開拓使別海缶詰所」が製造、販売していたサケの缶詰の復刻版です。別海は江戸幕府に献上されるほど高品質な鮭が取れ、これを使って缶詰を作



別海町に現存している「缶詰所」の建物の一部

り、外貨獲得や定住者の増加を目的として、明治11年に北海道開拓使により「旧開拓使別海缶詰所」が設置されました。その前年の石狩缶詰所の設置に次ぎ日本で2番目にできた缶詰工場です。この缶詰所の建物の一部が別海町歴史文化遺産として別海町に現存しています。別海町に残る最古

の木造建造物でもあり、開拓使が設置した缶詰所の中で唯一現存する貴重な産業遺産となっています。

缶のラベルは約140年前に販売されていた当時のデザインを再現し、中身は別海町産の秋サケにこだわった商品です。

今回、『開拓使別海さけ缶詰』を購入し、実際に食べてみると、身はふんわりとしていてやわらかく、塩味控えめで、しっかりと鮭の味がしました。太い骨までやわらかで骨も気にせずまるごと美味しくいただけます。また、やわらかく薄味なので小さな子供でも食べられますし、色々なアレンジも楽しめると思いました。



昨年は缶詰を試験的に1,000缶製造しましたが、今年は4,000缶製造予定で、間に合えば9月28日（日）開催予定の「奥行臼散策デー」の際にも販売したいとのことです。

「NPO法人別海町文化財ネットワーク」の活動や開催イベント、『開拓使別海さけ缶詰』の購入等についての詳しい情報はHPに掲載されていますので、こちらより↓是非ご覧ください。

【☆NPO法人別海町文化財ネットワークHP】 <https://betsukaibunkazai.net/>

【わが村団体活動情報】

◎『うまいよ！るもい市』が開催されました！（留萌市）

<わが村団体名：「うまいよ！るもい市」実行委員会>

7月27日（日）に「うまいよ！るもい市」が留萌地方卸売市場で開催され、約3500人が訪



れました。小雨が降る中、開始前から来場者の列ができ、多くの人たちがウニの量り売りやホタテの詰め放題に並んでいました。ホタテの詰め放題では、制限時間1分間で一枚でも多くのホタテを詰めようと皆さん一生懸命挑戦していました。留萌産の海産物のほか、小平産の「アイボリーメロン」や増毛

産の「サクランボ」、留萌高校の生徒が発案した「かずもちゃん焼き」の販売など、美味しいものがたくさんあり、留萌港南岸に設けられた飲食コーナーで、皆さん「留萌の旬」に舌鼓を打っていました。



来年も開催を予定していますので、機会があり

ましたら皆さまも是非「うまいよ！るもい市」へお越しください！



◎『夏休み企画 子ども料理教室』を開催しました！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っており、8月5日（火）には函館の名だたる中華料理人・小西康範シェフを講師にお迎えし、幼児から中学生までの子どもたち20名の参加による料理教室を開催しました。

シェフは“餃子”と“塩焼きそば”のレシピを家庭で簡単に作れるような材料と手順にアレンジして



紹介してくれました。

餃子作りのポイントは、「餡を作るときに粘り気が出るまでよく練ること」と「包むときは餡をたくさん入れすぎないこと」だそうです。

今回はあらかじめシェフが餃子の餡を用意してくれていたもので、包み方のコツを教わりました。

①皮の真ん中に餡をのせる、②片側に水をつけてひだを6枚よせる、③ひだをよせたら餃子を反対側に向けて反らせるようにして押さえてエッジを立てる、④皮をピタッと閉じることで肉汁を閉じ込める、とおいしくできるそうです。シェフのお手本をよく見て子どもたちも次々に包んでいきます。

焼きそばは、具材の切り方から実演してくれました。キャベツは芯を切断するように切り、もやし・ピーマンは細切り、人参は薄くして細めに切る。人参は固くて「細く切るのが難しい」という声があがっていましたが、どの班も慎重に包丁を進め、上手に細切りができていました。



「火の通りづらい人参と肉から炒めて、キャベツ・もやし・ピーマンを入れてしんなりしたら

【開催日時】 令和 7 年 1 0 月 9 日（木） 14：00～16：30

【開催方法】 対面及びオンライン（Zoom ウェビナー）

【開催会場】（対面）ACU-A大研修室1606（札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階）

【参加対象】 道内の食品関連事業者・団体、外食・中食事業者、消費者、行政職員等

【申込締切】 10 月 3 日（金） ※定員となり次第、締切となります。

【お問合せ】 ㈱メガ・コミュニケーションズ（担当：川口）

TEL：011-613-3633 E-mail：information@megacom.jp

【H P】 <https://syokuhinhyoji.pref.hokkaido.lg.jp>

【活動支援メニュー】

○令和 7 年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和 7 年度（後期）の助成募集を行っています。

助成事業の詳細については、当 N P O 法人の H P によりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【助成募集期間】（後期）令和 7 年 7 月 ～ 令和 7 年 1 2 月 3 1 日まで

【助 成 額】 1 団体当たり 1 件、1 0 万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【H P】 <http://wagamura-net.jp/>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を３ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに３か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第４四半期（Ｒ８．１月～３月））

令和７年１０月１日 ～ 令和７年１１月２０日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

ＴＥＬ ０１１－２０４－５７６６

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

最近のA I事情について、みなさまのお役に立ちそうな情報をお知らせします。

以前（5月号）、「NotebookLM」をご紹介しましたが、今回は「perplexity」をご紹介します。これを使いこなそうとすると、3,000円程度の課金が必要となりますが、Googleに変わるA Iを活用した新しい情報検索サービスとして世界から注目されています。もちろん無料でも利用可能です。「perplexity」の優れている点は、A Iの調査結果の情報ソースが示されるので、一定程度情報の精度が担保される点にあります。また、より深く考察する機能や、アイデア出しとしても使えるので、私は様々なリサーチやアイデア出しだけでなく壁打ちにも使っています。

A Iが人の仕事を奪うのでは？などのネガティブな面もありますが、A Iを上手く使うことで、世の中の変化をチャンスとして活かすことができるかもしれませんね！？

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階
↓わが村HPはこちらをご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
